

## 6月定例会概要

平成27年6月定例会は、6月15日から30日まで16日間の会期で行いました。

今定例会では、平成27年度一般会計補正予算(総額4億4576万円の増額)、特別会計補正予算(総額4万4000円の増額)の予算案5件、条例案1件、専決処分事項の承認などの事件案19件、の合計25議案が市長から提案されました。また、議会運営委員会から条例案1件が提案されました。

6月22日から24日の一般質問では、14名の議員が登壇し、25日、26日に予算決算常任委員会、26日には総務文教、産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について審査しました。

最終日30日の委員長報告、採決では、提案された議案について、すべて原案のとおり可決、承認しました。

### 委員会審査

各常任委員会において議案審査が行われました。

予算決算常任委員会に付託され

【質問】市長の思いとこれからの見通しについて。

【答弁】決して平たんな道のりではなかったが、市民、沿線自治体と協力してできたこと。また、資金面では歴代先輩市長が基金の積み立てをしていただいたので、この厳しい財政でもできた。これからは、市内観光、広域観光、移住定住に重点を置き周辺自治体とも協力していく。

【質問】飯山線のほくほく線越後湯沢駅乗り入れについて。

【答弁】乗り入れは時間と費用の課題があるが、検討課題とし、当面は十日町駅での乗り継ぎとエスカレーターでの取り付けなど沿線協議会に提案する。

【質問】駅南改札口の植樹祭の目的と、重機を使わず市民の人力でPR効果ある植樹ができないか。

【答弁】北陸新幹線飯山開業記念と第67回全国植樹祭PRイベントとして市民参加で行う。大きな木を人力で植えることは良いことだと思ふ。方法等は検討させていた

【質問】公共施設の維持、管理について。

【答弁】緊急時には応急措置をし、その後予算をつけ対応している。

## 一般質問

\*一般質問の内容は要約してあります。

### 北陸新幹線が開業して



久保田幸治議員

市民の利便性を優先的に考え検討する。

【質問】雪を資源ととらえ歴史、絵写真、模型など展示し、野菜、米、酒など雪中貯蔵品を販売する学びの場、観光場を長野県を交え取り組む考えはないか。

【答弁】雪を資源としてとらえ、新幹線時代に改めて資源として見直す。観光客が楽しめる政策に取り組む。総合的に取り組めば大きな果実になる。庁内で検討していきたい。

### こんなツアーも



## 国民健康保険税

### どうして



渡辺美智子議員

から検討している。県の動向を注視していきたい。

【質問】レンタサイクルの利用を、いくつかの拠点を設けることはできないか。千曲川を利用してラフティングやボート等も取り組めないか。



千曲川でのラフティング

【答弁】お客さんの利便性を考えて乗り捨ても今後可能になるよう検討する。信越自然郷エリアで、さまざまなアウトドアをスタートさせたい。

【質問】飯山線の踏切に非常用ボタンのない踏切が多いが、市民の安全を守るためにも、設置についてJRに要望をしていたいただきたい。

【答弁】飯山市内の踏切54か所中42か所がない。1か所でも多く設置されるようJRに要望する。

## 小学校の外国語活動は

### 対話力を伸ばす!



松本淳一議員

◆飯山らしい学校教育について

【質問】小学校での外国語活動の様子と、目指すところは何か。

【答弁】5・6年生は週一回、外国語の指導助手(ALT)と担任がチームで取り組み、ゲーム感覚で体を動かしながら英語を身につけている。英語に慣れ、好きになり、将来、臆せずに話すことを目指す。

【質問】授業を参観して、子どもたちが、英語で即答している姿を見た。取り組みはとても効果的だと思ふ。対話力もアップさせている。また、ALTの人選はたいへん重要と考えるが、どのようにしているか。

【答弁】政府機関が英語圏から募集した人材より採用している。



秋津小学校の外国語活動

【質問】外国語活動の一方で、日本文化をしっかりと身につけ発信力を養うことが大切ではないか。

【答弁】そのとおり、自らの文化を大切にしたい。郷土学習も役立っていると思ふ。

【質問】今、小学校の統合を英断すべきではないか。

【答弁】現在、統合は考えていない。将来、地域の声を聞いて考えていくことはある。

◆自然エネルギー活用について

【質問】市庁舎の太陽光発電のデータを使えば、個人でも取り組めるような結果になるが、補助は考えられないか。

【答弁】以前補助をしていたことはあるが現在はない。

◆岳北消防署跡地購入について

【質問】購入の目的は何か。

【答弁】事業拡大により企業がすでに建物を含めて賃借している。企業の市外流出を食い止め、地元雇用を守るために企業側の要望、地主側の要望を聞く中で市が土地を取得し、企業側に賃貸する形をとった。

## 輝く集落のために

### 「まち・ひと・しごと」戦略



高山恒夫議員

#### ◆街灯LED化への補助

【質問】集落財政の健全化に節減効果の高いLED化が有効と思うが、地元での改修工事に市からの支援制度を設けられないか。

【答弁】LED設置は1灯、約6万円の仕事費となる。初期投資がかなりの金額で財政課題があるが、集落の財政負担軽減や環境面からも大切であり支援制度を検討したい。

#### ◆地域おこし協力隊

【質問】協力隊員の派遣は集落に大きな刺激と活力につながる。現在の1名体制からさらに拡大すべきではないか。



『歴史から学ぶ』地域づくりの輪をさらに大きく

【答弁】外部からの有能な人材を受け入れることは大事であり、地域創生を進めていく上で必要とあれば地域と一緒に考えていきたい。

#### ◆文化芸術振興について

【質問】「文化交流館なちゅら」の開館を契機に、市民の文化芸術への機運をいっそう高めるために文化芸術振興条例の策定を目指すべきではないか。

#### ◆工業団地の賃貸使用について

【質問】新幹線の実現で新たな企業誘致に弾みをつけたい。企業誘致活動の実態はどうか。

## 新幹線飯山駅 乗降者数について



飯田健一議員

【質問】私は平日2日間、日曜日1日、合計で3日間独自に調査しました。結果は平日の1日目乗った人325人、降りた人277人、2日目乗った人240人、降りた人284人、日曜日乗った人512人、降りた人415人、3日間の平均は乗った人359人、降りた人325人という結果になりました。いずれにしても、1日の目標1300人を大きく下回る結果となりました。私がなぜ一人で調査をする気になったかと言いますと、データなくして分析なし、分析なくして対策なし。心配でじつとしていられなくて始めました。降りた人はどこから何の用事でどこへ行くのか、乗る人は何の用事でどこへ行くのか、そこまで調べられれば対策も打てるはずですが、ですから私の言いたいことは、こういう調査を本当は、行政にやつてもらいたいです。見解をお聞きます。



新幹線飯山駅改札口付近

【答弁】4月下旬から今月上旬にかけて、駅を利用した市外在住の100組、267人にどこへ行ったかなどを聞き市報で紹介をした。

## 地域医療の確保（飯山赤十字、飯山線S1走行実現）

### 飯山線S1走行実現



江沢岸生議員

#### ◆地域医療の確保、飯山赤十字の維持と医師不足対策

【質問】地域医療の確保、特に飯山赤十字病院の維持と医師確保に取組んでいただきたい。

【答弁】市としても医師不足対策等に取り組んでいくし、財政的にも移転対策に伴う補助を平成36年度まで毎年、現在も行っている。医師不足対策は、当面足りないから確保することだけでなく、持続可能な形で確保することが大切。日常生活圏である北信の中で、北信病院、飯山日赤、佐藤病院が、



北陸新幹線車内広告

それぞれどういう役割を担っているかの骨格作りが大事であり、3病院に中野市、飯山市も入り考えていくなかで飯山日赤への支援を考えていく。

【質問】飯山赤十字病院の26年度決算は、医師不足等により3億5千万円の赤字。27年度に特別交付税申請し、約5千万円弱の追加支援を飯山赤十字にすべき。

#### ◆飯山線S1走行実現

【質問】4月22日の飯山線沿線協議会総会で、平成28年度に飯山駅と長岡駅の間イベントとしてのS1走行を、次の段階では定期運行を、JR東日本に要請するという初の決議が行われた。これを高く評価し、実現に向けての決意を伺う。

【答弁】飯山市単独ではできない。沿線自治体が連携して進める必要。JRからはいろいろ課題もあるので検討させてほしいということなど言われている。

## 希望あふれる

### 飯山へ



西澤一彦議員

【質問】人口減少に歯止めをかけるには、早急の対策が必要と思うが。

#### ◆希望あふれる飯山へ

【答弁】地方と国が一体となり、また新幹線と地域資源を結びつける中で安定雇用の場を作り、定住の流れを作りたい。創生会議の中でさらに具体的に詰めていく。

#### ◆希望あふれる飯山へ

【質問】島根県海士町の視察で移住した若者が地元の方とまた、行政のバックアップを受け海産物の養殖、販売に成功していた。また、隠岐牛の肥育も軌道に乗り、活気にあふれている。飯山とは条件が異なるが重大なヒントが多々あると思うが。

#### ◆希望あふれる飯山へ

【答弁】ハードルは高いが飯山にあるさまざまな資源を消費者の視点に立って考えていく。



新幹線開業をバネに地方創生を

【質問】古牧橋の老朽化また伍位野までの道路交通量が多く危険。大事故、大惨事が起る前に手を打てないか。

#### ◆希望あふれる飯山へ

【答弁】機会があるたびに県に粘り強く要望する。

# 「地方創生」のねらいについて



竹井政志議員

【質問】政府主導で進めようとする「地方創生」は地方の活性化につながるか、それとも地方の衰退を招くか。

【答弁】10月までに「戦略」をつくれというもの。地域の資源を活用し、行政と地域の皆さんと連携していく。

◆マイナンバー制度導入と個人情報漏えいについて

【質問】住民登録しているすべての人に12桁の番号をつけて、納税や社会保障給付などの個人情報報を国が管理する仕組み。今年10月から実施の予定。この制度の問題点は。

【答弁】行政事務の効率化という点で便利。しかし個人情報漏れる可能性はゼロではない。国が安全性を確保しての運用が重要。

◆教育行政について

【質問】この夏、来年度から使う中学教科書を選定する。日本の侵略の歴史をゆがめ、平和憲法を攻撃する「育鵬社」と「自由社」の社会科教科書も含まれている。教科書採択に市長は関与できるのか。



期待される北飯山駅周辺整備

限と自分の権限を明確に認識しているので採択に介入はないと思う。

◆北飯山駅周辺整備について

【質問】通勤通学の利用者が多く、城址公園、高橋まゆみ人形館、北高校のある地域。駅周辺の整備計画は。またJR所有の舗装されていない駐車場とのかかわりは。

【答弁】今年度、駐車場以外の用地を買収する予定。28年度、29年度の2年間で改良工事を完了したい。北高校南側の水路については区としての一定の方向を出してほしい。市も技術面で相談にのる。

# 違憲・危険な「戦争立法」にきっぱり反対を



小林喜美治議員

◆平和安全法制（戦争立法）について

【質問】国会で最大の焦点である、「平和安全法制」関連法案「いわゆる戦争法案」は、憲法9条を踏み越え、日本を『海外で戦争できる国に』つくりかえる戦後最悪のもの。憲法学者の発言でも、全員が憲法違反であることを表明し、審議を通じて根拠が崩れてきた。この「戦争立法」について市長の見解を求める。

【答弁】以前から問題になっていた集団的自衛権の行使について、私は明確に反対していきたいと思う。平和憲法をつくり、飯山市は非核都市宣言も行っている、平和をしっかり守っていきたい。

◆農協改革関連法案について

【質問】戦後農政の基本となってきた農協、農業委員会、農地制度を根本から覆し家族農業を根本から否定するもの。農業委員会法改正も、『農民の代表』機関としての性格を奪うものである。農業や農村の現場の声からでなく、財界の要求で安倍政権が上から押し付けた



5月19日、低空飛行問題で外務省・防衛省と交渉する日本共産党市議団（東京）

もの。市長はどのように考えておられるのか見解を。

【答弁】国主導で進んでいるが、現場の声が重要と思う。地域の農業者と一体となった改革が必要と思う。

◆平成26年度決算見込みについて

【質問】平成26年度予算は5月末に出納閉鎖されているが、決算見込みはどうなっているのか。

【答弁】平成26年度予算は、一般会計186億9400万円で、歳入が172億4900万円、歳出159億6400万円で、差し引き12億8000万円となる見込み。

## 秋津小の

### イロハモミジの保護



渋川芳三議員

【答弁】いいアイデアがあれば、ぜひ提供を願いたい。

◆飯山駅前市有地の活用

【質問】5月までの間、会社との連絡は行っていたのか。

【答弁】適宜会社と連絡を取ってきた。

【質問】収容人員と雇用人数はどうか。

【答弁】収容人員と雇用人数についての言及はなかった。収容人数を縮小したとの認識はない。

【質問】事業用定期借地権設定契約はいつごろになるのか。

【答弁】ホテル建設の着工前になるのかと考えている。

◆生活困窮者への対応

【質問】4月に施行された生活困窮者自立支援法の概要はどうか。

【答弁】生活が困窮、またはその恐れのある人を生活保護に至る前に包括的に支援する制度。

【質問】計画を作り子どもの貧困対策を進める考えはないか。

【答弁】長野県の今後の方針を参考にして、市としての方針を考えていきたい。



秋津小のイロハモミジ

## 児童デイサービス 支援事業について



石田克男議員

【質問】現在、飯山市内に重い障がいをもつお子さんが頑張つて成長しています。しかし母親の産休が間もなく切れ、仕事に復帰したいという思いから、市内に安心して預けられる施設がほしいとの要望がある。

【答弁】若いお母さん方が、安心して子育てができて、働ける地域を作らなければいけない。市としてどのような対応ができるか検討させてもらいたい。

◆5月連休中の市内イベントの反省について

【質問】今年も連休中に多くのお客さんに来ていただいた。看板等色々な課題が見えてきた。イベント会場

場、の責任者に集まってもらい反省会をもつてはどうか。

【答弁】来年のためにも、今年はそれぞれの会場の責任者に集まってもらい、反省会をもつ。

◆文化交流館の使用について

【質問】文化交流館の建設が進んでいる。運営に対し、基本的にどのように考えているか。

【答弁】サービス向上に努め、魅力的な事業企画、積極的な情報発信、貸館営業を進めていきたい。また学校とも連絡をとりながら、飯山の子どもたちの感性がより豊かに磨かれるように、質の高い催しを企画していきたい。

◆ペントグラスを用いた畦畔の草刈り省力化について

【質問】中山間地の畦草刈りは非常にたいへんだ。芝による畦畔管理の省力化の研究が進んでいる。市でも施行に取り組んでいただきたい。

【答弁】市としても芝に期待している。今年も普及センターと連携して、ペントグラスの育成指導や講習会等開催し、普及活動につとめる。



菜の花渡し船

# 除雪業務について



荻原洋平議員

【質問】除雪業務委託契約更新にあたり、どのような見直しを予定しているか。

【答弁】沿線、地域の要望、苦情等内容を検証し、改善が必要な工区、路線等、除雪機械の選定を含めて見直しを行い、安定した除雪体制を確立していきたい。

【質問】春先のほかし作業の実施基準は。

【答弁】従来の方法を見直し、現地確認、委託業者との施工協議、専任の職員体制について検討したい。

【質問】除雪委託料の支払いを1月に行ない、現在の3回から4回に見直しできないか。

【答弁】委託業者の負担を考慮して、降雪状況、近年の気象事情等により支払いの時期、回数は、委託業者と協議して柔軟に対応していきたい。

【質問】木島地区に、大型ロータリー車が必要不可欠となってきたが、飯山市として、どのように考えていただけるか。

【答弁】市内各所から多く要望があり、現在の台数ですべての必要



大型ロータリー車

箇所配備は難しい状況で、市全体の除雪計画のなかで研究させていきたい。

【質問】若者が住み続けられる環境づくりについて足立市長の考えは。

【答弁】若者から高齢者まで、この地域で安心して住み続けられる環境の実現は、非常に大事な課題で地域創生の大きなテーマである。現在いろんな業種の若い方々が積極的に取り組んでいる「お試しハウス」の活動に、市も応援をしていきたい。

# 足立市長の防災意識について



市川久芳議員

【質問】千曲川の堤頂と洪水水位の関連性の図面を渡してあるが、市長はどう認識しているのか。先の連続水害（S57、58年）後、飯山盆地の堤防は河川法による完成堤防として整備されたが、今はその効果はない。千曲川「道の駅」の所で百年確率の洪水が発生した時、2対6の計画と差が生じているため破堤する。極めて危険な状況下にある。本来河川法（河川管理施設等構造令第20条）によると1.5倍の余裕高が求められている。この点を指摘した図面が含まれる私が10年前に出版した書籍も渡してある。関係官庁のみならず、7人の国会議員へも関連資料と合わせて3年間届けてきた。私の出版した「闘災の序曲」は衆議院の決算行政監視委員会での点をふまえて30分審議されてきた。足立市長はこの点について、危機感があるのか、認識されているのか、知らないのか答弁を求めます。

【答弁】飯山盆地の堤防は、完成堤防として整備されていることは認識している。しかし、百年確立



昭和57年9月 決壊した下木島付近の樽川堤防

の9000立方メートルの洪水ではオーバーフローすることになる。それを防ぐには、河道掘削が不可欠である。国は今、S58年水害の洪水が発生しても安全なようにするため、7300立方メートルの河川整備を今後30年かけてやろうとしている。上下バランスを考え、新潟県側もあわせて整備していく必要があるから時間がかかる。市としては、30年計画を早く整備してもらおうよう要望していく。また、県管理区間を直轄河川に編入していくよう要望していく。

# 飯山の魅力発信と環境整備について



山崎一郎議員

【質問】地域の悲願であった新幹線が開通したが、飯山に訪れて欲しいとアピールするには、飯山の魅力発信が重要だが。

【答弁】他の地域にない飯山でしか味わえない魅力を創出することが重要に思う。素材はたくさんあるののでいかに組み合わせ、魅力的なものとし発信できるか検討する。

【質問】駅前になぜブナの木を植えたのか。飯山駅は都会の新幹線駅をまねるべきでないと思うが。

【答弁】ブナは飯山の市の木であり、大きくなるに年数はかかるが将来それが飯山らしさの創出になり、必ず飯山の魅力になると思う。



阿弥陀堂は癒やしの里 飯山の大事な魅力

【質問】正受庵・小菅神社・阿弥陀堂等の資源を連携させて、癒やしの里、飯山の温かさを情報発信すべきだしその環境整備も重要だが。

【答弁】寺町飯山の伝統の良さは観光用に作ったオモテナシでない本物の温かさが伝わるものだ。それをぜひ大事にしていきたい。

【質問】人形館に年間13万人を超す観光客がある。寺の案内標識を愛宕町通りに設置したり飯山案内人を配置し、そこで気軽にお茶のオモテナシをしてはどうか。

【答弁】標識は今年度整備していく予定で、案内人は試験的に実施してみたい。またお茶の場所は地元の方さんと相談し検討したい。

【質問】新しい文化振興部は飯山の情報発信にとって非常に重要な部門だ。庁内が縦割り意識にならぬよう連携を大切にすべきだ。

【答弁】ご指摘のとおり、外の方々に飯山の良さを発信する役割は重要だ。経済部・観光局などと庁内連携を大切に事業を進めていく。

# 請願審査

# 意見書

## ◇請願第1号

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願

《継続審査》

## ◇意見書第1号

平和安全法制整備の断念を求める意見書

《可決》

## ◇請願第2号

平和安全法制（戦争法案）の慎重審議を求める請願

《不採択》

## ◇意見書第2号

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に関する意見書

《可決》

# 叙勲伝達

元飯山市議会議員小林洋之氏が、このたび旭日双光章を受章されました。

小林氏は、飯山市議会議員に平成6年12月から平成22年12月まで、4期16年の長きにわたり在職されました。また、平成12年12月から平成14年12月までの2年間は副議長、平成14年12月から平成16年12月までの2年間は議長としてもご尽力いただきました。

5月8日には長野県庁での知事からの伝達式に、また、5月12日には皇居での天皇陛下への拝謁式に出席されました。



長野県知事からの伝達式

# 管外視察報告

先ごろ行なった各常任委員会の  
管外視察について報告します。

## 総務文教常任委員会

平成27年5月12日～14日  
島根県 海士町・雲南市

### ◎島根県海士町

海士町は日本海沖60キロに浮かぶ隠岐諸島の4つの有人島の一つで、島周囲89・1キロ、人口は1950年代7000人をピークに現在は2400人ほどの小さな島です。超過疎、超少子高齢化、超財政悪化の中、平成の大合併ではあえて単独を選び、自らの生き残りをかけて果敢に挑戦し続けている。現在Iターン者が多い町として全国から注目を集めている。

### ◆「守り」の行革と「攻め」の産業振興と交流促進

大膽な行財政改革とともに、現場主義に徹した体制づくりとして、役場の「産業3課」（交流・観光・定住を担う「交流促進課」、一次産業を担う「地産地商課」、新たな産業おこしと雇用創出を担う「産業創出課」を、本庁舎から島の玄関口の菱浦港ターミ

ナル施設に事務室を移し、よりお客さまの近くで、お客さまの声を聞こえる現場重視を展開している。

### ◆島民の誇りをブランドに

98年度から全国各地からIターン者を募集し、町の臨時職員として受け入れる「商品開発研修生制度」を取り入れて「よそ者」の発想と視点で特産品開発に取り組んだ。さざえカレイの商品化をきっかけにやればできると自信が生まれ、その後の岩がぎの養殖、CASシステム冷凍技術の導入、隠岐牛のブランド化と新産業創出事業に拍車がかかった。

### ◆小さな島の挑戦は続く

生き残りをかけた自立の道の挑戦は、U・Iターン者（10年間で294世帯437人）を呼び込み、「よそ者」との交流で、特産品を商品化し、雇用を生み出し、収入を確保する。公立学習塾の開設で廃校寸前の島唯一の高校に本土から島留学の生徒が多数集まる。他者を受け入れる自由な発想が、産業をつくり、教育をつくり、集落をつくり、さらにU・Iターン者が増え人口が増えていく。好循環の仕組みづくりに驚きとともに、やる

気と勇気があれば何でもできる」と説明する役場課長の言葉が印象的だった。

### ◎島根県雲南市

平成16年に6町村が合併し誕生した人口約3万9000人の新しい市です。今年の3月に市内を縦断する中国横断自動車道尾道・松江線が全線開通した。雲南市も少子高齢化、人口減少の進む中、地域住民生活を支える「地域自主組織」の取り組みが注目を集めている。「地域自主組織」とは、集落単位より少し広域的な小学校区域での自治組織を結成し、住民参加、協働により地域課題解決を目指す。現在市内には30組織が運営されていて、各自組織では、子どもたちの預かり保育、高齢者の買い物支援、安否確認、水道検針業務受託など独自の収益事業と地域活動を行っている。市では自主組織に交付金を支給し活動を支えている。

飯山市版では、現行の地区活性化センターを拠点とし、地域主体の自治組織を結成し、住民同士が支え合うネットワークを築き地域の暮らしを守っていくイメージである。行政と住民自治の基本的役割分担や連携を学

とにより、現在県内外から13企業が参入すべく事業計画を策定中とのこと。全国でも6地区しか特区に認定されていない。飯山市と同じ中山間地域で認定されたことについて、経緯、問題点、利点、これからの展望について説明をいただいた。また、特区とは別に廃校を利用した企業誘致について説明をいただいた。

### ◆竹田城を活かした町づくりとは

まちづくりに関しては、雲海の城として有名な兵庫県朝来市の竹田城を活かした取り組みについて視察した。街中に観光の核となる施設をつくるため、事業費3億6000万円を投じて、旧つくり酒屋を改造し観光の拠点を整備した。施設の中には宿泊施設、レストラン、情報館を併設しており、レストランでは結婚披露宴場としても使用でき、フランス料理を提供している。高級ホテルに引けを取らない。もともとある古い町並みを生かした取り組みであり、寺町である飯山市と似た状況であると感

### ◆地域医療再生のカギ

地域医療分野では、兵庫県立柏原病院を視察した。全国的な

地域医療崩壊の危機を迎えている中、県立柏原病院では、院長方針の下に研修医のしつかりとした教育体制を作ることによって医師の増加につなげている。今後については、「総合内科医育成が医療崩壊の救世主となると考えている」旨の説明をいただいた。また、県立柏原病院には、市民団体である「県立柏原病院の小児科を守る会」があり、地域医療を市民団体がバックアップしている。代表の方からも説明をいただいたが、自分たちも病院のコンビニ受診をしないように働きかける等の活動は、大したものと感じた。県立柏原病院は飯山赤十字病院とはおかれてい

る立場が異なっており、また、飯山赤十字病院は市が経営主体ではないことから、直ちに飯山に当てはまるものではないが、市民自らが病院のことを勉強し、病院を守るために行動していることは見習う価値があると思われる。

### ◆ラベンダーで6次産業化

産業化については、兵庫県多可郡多可町にあるラベンダーパーク多可の取り組みについて説明をいただいた。ここは、地域住民が中心となりNPO組織

で立ち上げたもので、5畝の土地に3万本のラベンダーが植えられている。従業員のほとんどが女性で、ほぼボランティアで働いている。ラベンダーを作り、ラベンダーのにおい袋、オイル等をつくり、売店やネット販売している。年間収益は5000万円ほどとなり、村の女性やお年寄りにとっては、貴重な収入となっている。この特徴は、ラベンダーとは何も縁のないところにラベンダーを使っているところ、ラベンダーが特徴で、指導者の強いリーダーシップの下では、このような方法も取れることを改めて認識させられた。

委員長 洪川芳三



養父市役所にて

ぶ貴重な機会となった。  
委員長 高山恒夫



海士町観光協会職員の説明と意見交換

### 産業民生常任委員会

平成27年5月12日～14日  
兵庫県 養父市・朝来市  
丹波市・多可町

産業民生常任委員会では、飯山市の人口規模や状況と照らし合わせ、農業特区、まちづくり、地域医療、6次産業をテーマとして視察を実施した。

### ◆農業特区に学ぶ

中山間農業特区に取り組んでいる兵庫県養父市では、農業分野において、要件を緩和するこ

## 編集後記

◆6月議会では新幹線飯山駅の乗車人数が話題となりました。JR東日本の発表では3月14日の開業から3日間は一日平均800人、1カ月後の発表では500人でした。実はこの数字は、飯山駅から新幹線に乗った人と降りた人の「乗降者人数」の合計ではなく、飯山駅から新幹線に乗り込んだ人の「乗車人数」とのことです。開業後は、長野に行くにも新幹線が便利です、という声を聞きます。行きは新幹線で、帰りはゆつくり飯山線。この利用方法が利用促進への一つのアイデアかもしれません。市報6月号で「飯山駅利用者100組に聞きました」との特集記事が組まれていました。100組の皆さんから飯山への印象が語られています。ふるさとの素晴らしさをあらためて市外の方から教えてもらいました。(高山 恒夫)

### 議会だより編集委員会

- 委員長 久保田幸治
- 副委員長 小林喜美治
- 委員 山崎 一郎
- 高山 恒夫
- 洪川 芳三
- 上松 永林
- 佐藤 正夫